

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	し尿収集事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター				
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり	主管課長	糸井 正人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内に居住するし尿収集世帯及び仮設トイレ利用者	意図	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正なし尿処理をすることにより、良好な生活環境を確保する。
事業内容	汲み取り世帯から排出されるし尿を収集運搬を委託するほか、し尿処理手数料の適正な管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	公共下水道の普及に伴うトイレの水洗化により、汲み取り世帯が年々減少している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	し尿搬入量	2074.80	1887.98	1830.49	t	↓↓↓
②							
③							
④							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 公共下水道が普及する反面、汲み取り世帯が減少している状況で適正処理をしていくことにより、衛生的な環境に寄与している。		
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	89,925,491	91,679,886	89,996,440
事業費(b)(円)	81,842,491	83,673,886	81,370,440
うち一般財源	81,842,491	83,673,886	81,370,440
職員給与費(c)(円)	8,083,000	8,006,000	8,626,000
人役・職員(人)	1.00	1.00	1.00
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	1.00	1.00	1.00
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	年々汲み取り世帯が減少するなか、経費の見直しが必要である。	③取組の課題	更なる経費の見直しが必要である。
②今年度(H27)に実施した取組	し尿収集運搬委託料の見直しを行った。	④今後の改善計画	コスト削減に努める。